

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 天野実業株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒720-0813 広島県福山市道三町9番10号	
本票作成	部署名：生産技術部 生産技術チーム				
主たる業種	分類コード	09	業種名：食料品製造業		
事業の概要	フリーズドライ食品、カラメル、粉末調味料、レトルト食品、健康食品等の製造、従業員数：733人、事業所数：2				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	天野実業(株)里庄第1工場		岡山県浅口郡里庄町里見4215番地	
	②	天野実業(株)里庄第2工場		岡山県浅口郡里庄町里見2751番地1	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 2ヶ所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	平成 26 年度		～	平成 27 年度		(2 箇年度)				
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準		目標削減率 6.0 %	目標区分	20%以上	20～15%	15～10%	10～5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準							○	
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成 25 年度)				目標年度 (平成 27 年度)					
	34,930 t CO ₂				35,829 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (平成 25 年度) の排出量						
	①	天野実業(株)里庄第1工場		17,939 t CO ₂						
	②	天野実業(株)里庄第2工場		16,991 t CO ₂						
				t CO ₂						
				t CO ₂						

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産数量	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		10.89 t CO ₂ / (千枚)	10.23 t CO ₂ / (千枚)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (平成 25 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

省エネ推進
 平成23年以降は前年CO₂量に対して毎年-3%
 (但し、平成27年の売上高は、平成25年比率で118%に増加)
 通常業務では39,415 t の排出になりますが毎年-3%を実施して目標数値に抑え各施策を実施します。

【目標削減率達成のための推進体制】

アサヒグループとして「環境ビジョン2020」に取り組んでおり、グループ全体としてCO2排出量削減目標 2012年CO2削減目標：2008年度比 5%削減、 2015年CO2削減目標： 2008年度比 10% 2020年CO2削減目標：2008年度比 30%削減を掲げて推進中。 天野実業は環境マネジメントシステム(ISO14001)の認証を2011年11月30日付け取得済。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
天野実業(株)里庄第1工場 天野実業(株)里庄第2工場	①従来型照明器具の省エネ型照明器具への更新(全工場) ②真空凍結乾燥機の真空機器について、従来初期段階は2機で運用していたが初期段階より1機で運用し真空ポンプ電力削減(第1工場) ③ボイラブロー率の見直し(全工場) ④凍結乾燥設備の乾燥末期の熱媒ポンプ停止による電力削減(第2工場) ⑤ボイラ1, 2, 3, 4号機LPGへ燃料転換(第1工場) ⑥第1工場都市ガスへの燃料転換

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
天野実業(株)里庄第1工場 天野実業(株)里庄第2工場	①第2工場都市ガスへの燃料転換 ②老朽エアコンプレッサー更新による効率化(全工場) ③老朽化したFD機を停止し高効率FD機での生産転換による電力削減 ④カラメル焙焼排熱回収 ⑤初期水封ポンプインバーター化

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

平成25年度～平成27年度の3ヶ年計画表を総排出量で計画していましたが、総排出量では削減効果が見えにくく26年、27年の2ヶ年については原単位に替えて計画致しますので再度計画表の提出を致します。